会員各位

TPP 参加反対緊急要請署名にご協力下さい

下記「要請書」にご署名(**ゴム印でも可**)いただき、FAXにてご返信をお願い致します。

＊ 長野県保険医協会宛　**FAX番号：026－226－8698**

＊ 第1次締め切り　6月5日

日米両政府は、日本の TPP 交渉参加へ向けた合意文書を発表しました。TPP 参加は国内の医療分野における規制緩和の動きを加速させ、国民皆保険制度は形骸化・崩壊の危機に直面します。しかし、交渉参加表明で日本の TPP 参加が決まったわけではありません。国民世論を盛り上げ、交渉撤退へと追い込むことが求められています。そこで、保険医協会では、緊急に TPP 参加反対の会員署名に取組みます。政府・国会議員への要請で手渡し、賛同と理解を広げたいと考えます。是非ご協力をお願いいたします。

なお、同封のリーフレット「TPP と私たちのくらしのこと」を待合室に置いたり、患者さんに配布いただければ幸いです。リーフレットの追加注文は裏面の注文書でお願いいたします。

内閣総理大臣殿

TPP 政府対策本部長・経済再生担当大臣殿

厚生労働大臣殿

国会議員殿

国民皆保険制度を崩壊させる TPP への参加断念を求める要請書

3月 15 日、安倍首相は TPP 交渉への参加を表明しました。私たち医師・歯科医師は、国民皆保険制度を守る立場から、参加表明を直ちに撤回し、TPP への参加断念を求めます。TPP 参加によって、①薬価決定過程への製薬企業の参加、新薬の特許保護の強化、②混合診療の全面解禁、③営利企業による病院経営、などを通じて医療が営利化・市場化される恐れがあります。その結果、「いつでも、どこでも、だれでも」安心して医療が受けられる国民皆保険制度が形骸化され、実質的に機能しなくなります。また、TPP 協定には、外国の企業の訴えによって国内法やルールを変えさせられる条項等が盛り込まれています。さらに、遅れて交渉に参加する国は、既に合意されている内容を全て受け入れなくてはなりません。

政府は「国民皆保険は守る」などといいますが、これでは守ることなどできません。

以上のことから、私たち医師・歯科医師は、以下の事項の実現を強く要請いたします。

一、　国民皆保険制度を崩壊させる TPP への参加をやめること

住　　所：
医療機関名：
氏　　名：

私の一言

リーフレット注文書

（長野県保険医協会ＦＡＸ番号　026－226－8698）

1、TPP と私たちのくらしのこと

１枚５円

注文数　（　　）**枚**

20 枚まで無料

氏　　名
医療機関名
連　絡　先